



2026 (令和8) 年 9月 1日



第6号

伊賀市立柘植小学校

HP二次元コード

校長

松本

徹

学習経験を積み上げ、充実した2学期に

長かった夏休みが終わり、8月28日(金)から78日間の2学期がスタートしました。夏休み期間中、全国では大きな地震や水害などのニュースが相次ぎましたが、幸いにも柘植小学校では大きな事故やケガ等の連絡をいただくことはなく、無事に2学期を迎えることができました。保護者の皆様には、日々子どもたちの健康管理はもちろんのこと、夏休みが子どもたちにとって有意義なものとなるようご協力いただき、本当にありがとうございました。

今始まったばかりの2学期が、すべての子どもたちにとって充実したものとなるよう、特に熱中症やケガ、事故等のないよう安全面には十分に気をつけて学校運営に取り組んでいきたいと思います。これまで同様、保護者の皆様、地域の皆様のご支援とご協力をよろしくお願いいたします。

9月の行事予定

1日(火)	発育測定	16日(水)	後期児童会役員選挙
2日(水)	給食開始	18日(金)	読み聞かせ(昼)
4日(金)	通常日課開始	21日(月)	敬老の日
	委員会活動(前期最終)	22日(火)	国民の休日
	読み聞かせ(昼)	23日(水)	秋分の日
	スクールカウンセラー来校	24日(木)	図書館司書来校
	修学旅行保護者説明会	25日(金)	授業参観・人権講演会 ・学級懇談会
8日(火)	4年生社会見学	28日(月)	6年生吟行・歴史探訪
	読み聞かせ(朝)	29日(火)	5年生社会見学
	教育ボランティア会議		
9日(水)	水曜集会		
	育友会常任委員会		
10日(木)	図書館司書来校		
11日(金)	育友会一斉登校指導		
15日(火)	3年生社会見学		
	5年生いのちの育み教室		
	読み聞かせ(朝)		



令和8年度 全国学力・学習状況調査の結果より

4月23日(木)に、6年生児童を対象に実施された全国学力・学習状況調査の結果が、文部科学省から公表されましたのでお知らせします。この調査は、現在の子どもたちの学力や学習に関わる状況を把握し、授業や生活の改善に役立てることを目的に毎年行われています。今年度は、国語・算数の2教科と児童質問紙調査が行われました。来年度についても、今年度同様、国語・算数の2教科と児童質問紙調査で実施される予定です。(理科については、概ね3年に一度行われることになっています。)

1. 学力調査の結果について

柘植小学校の平均正答率		全国と比較して
国	語	上回っている
算	数	上回っている

※全国と比較して「上回っている」とは、全国の平均正答率に対して+5%以上であることを表しています。

2. 設問ごとの結果から分かった柘植小学校の子どもたちの強み(◇)と課題(◆)

<国語> ※ () は全国の正答率

◇学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使う。

[問題] ①そでがみじかい(短い)方がすすしい

⇒本校正答率100%(80%) +20

②ふしぎ(不思議)に思い

⇒本校正答率78.6%(45.2%) +33.4

◇筋道の通った文章となるように、文章全体の構成や展開を考える。

[問題] 花山さんの文章の工夫を説明したものとして適切なものを選択する。

⇒本校正答率78.6%(57.9%) +20.7

◇文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめることができる。

[問題] 文書を読んで考えたことを、自分の経験と結び付けてまとめて書く。

⇒本校正答率100%(76.4%) +23.6

◆相手に伝わるように、理由や事例などを挙げながら、話の中心が明確になるよう話の構成を考えることができる。

[問題] 構成メモの工夫として適切なものを選択する。

⇒本校正答率57.1%(73.9%) -16.8

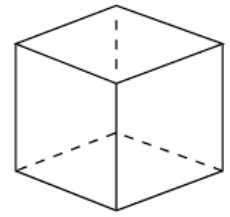


＜算数＞ ※（ ）は全国の正答率

◇立方体の体積の計算による求め方について理解している。

〔問題〕一辺が8cmの立方体の体積を求める式を書く。

⇒本校正答率92.9% (72.7%) +20.2



◇体積の意味について理解している。

〔問題〕1立方センチメートルの立方体を36個使ってできた直方体の体積を書く。

⇒本校正答率64.3% (40.1%) +24.2

◇数を四捨五入して、概数で表すことができる。

〔問題〕74291の百の位を四捨五入して、千の位までの概数で表したものを選ぶ。

⇒本校正答率92.9% (66.5%) +26.4

◇整数と小数の減法の計算をすることができる。

〔問題〕2つの小数のどちらが5に近いかを判断するために、 $6.37 - 5$ と $5 - 3.76$ を計算する。

⇒本校正答率85.7% (58.1%) +27.6

◇単位分数の個数に着目し、数直線上の1を表す目盛りを捉えることができる。

〔問題〕 $5/3$ を表す目盛りが示された数直線上で、1を表す目盛りを選ぶ。

⇒本校正答率92.9% (68.1%) +24.8

◆基準量、比較量、割合の関係が正しく表されている図を選ぶことができる。

〔問題〕赤いテープの長さが、白いテープの長さの1.5倍になっている図を選ぶ。

⇒本校正答率28.6% (34.2%) -5.6

3. 児童質問紙調査より(抜粋) ※（ ）は全国の割合

(1) 朝食を毎日食べている。⇒100% (93.3%) +6.7

(2) 毎日、同じくらいの時刻に寝ている。92.9% (82.8%) +10.1

(3) 毎日、同じくらいの時刻に起きている。⇒85.7% (90.7%) -5.0

(4) 自分には、よいところがある。⇒100% (85.6%) +14.4

(5) 将来の夢や目標をもっている。⇒92.8% (81.8%) +11.0

(6) 人が困っているときは、進んで助けている。⇒100% (92.7%) +7.3

(7) 人の役に立つ人間になりたい。⇒92.9% (95.8%) -2.9

(8) 自分と違う意見について考えるのは楽しい。⇒92.8% (77.9%) +14.9

(9) 学級で人と違う意見でも否定されない。⇒85.7% (69.6%) +16.1

(10) 地域社会をよくするために何かしたい。⇒57.1% (80.1%) -23.0

4. 調査の結果について

<教科の結果より>

本校6年生の平均正答率は、国語・算数ともに、「全国と比較して上回っている」という結果でした。学年全体として2教科とも無回答率がとても低く、全員が大変粘り強くすべての問題に取り組んだことがわかりました。



また、柘植小学校の課題の一つとしてここ数年取り組んできた「複数の条件を満たして書く問題」や「自分の経験と結び付けてまとめて書く問題」では、金曜日プリントや学Vivaプリント、過去問などに取り組むことによって正確に書ける児童の割合が高くなっています。

学習内容を自分のものにするには、持ち物をそろえ、集中して授業に臨み、宿題を通して理解を確かなものにしていく必要があります。子どもたちには、この学習内容を定着させるための大事なサイクルを、確実に小学校段階で自分のものにしてもらいたいと考えています。

<児童質問紙の結果より>

「朝食を毎日食べている(100%)」「自分にはよいところがある(100%)」「人が困っているときには、進んで助けている(100%)」などの質問については肯定的な回答が全国と比べても高く、日々よりよい生活やよりよい生き方を意識していることがわかりました。

また、「自分と違う意見について考えるのは楽しい(92.8%)」や「学級で人と違う意見でも否定されない(85.7%)」などの質問に対する肯定的な回答から、多様な考えを受け入れ、よりよい方向を模索していく考え方の広がりを感じました。来年度4月に開校する統合中学校への進学に向けて、とても大切な考え方であると思いました。

しかし、その一方で、「地域社会をよくするために何かしたい(57.1%)」の質問については、全国の80.1%と比べてかなり低く、地域社会をよくするために活動する意識を子どもたちには育んでいく必要があることを感じました。

今回の調査を通して明らかになった強みや課題等を、6年生の子どもたちはもちろんのこと、学校全体の授業改善や子どもたちの生活改善に役立てていきたいと思います。今後とも、保護者の皆様、地域の皆様には、本校の教育活動に対してご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

